



令和7年12月発行
奈良市立都祁こども園

年末が近づき、もうすぐ今年も終わろうとしています。皆様にとってはどのような年だったでしょうか？毎週“にこにこ親子ひろば”に「おはよう」と来てくれる子ども達の姿に成長を感じるこの頃です。しばらく“ひろば”はお休みにになりますが、どうぞお身体を大切に良い年をお迎えください。皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

1月は、1月13日（火）から始まります。また元気に参加いただくことを楽しみに待っています。

【1月の主な遊び】

- ・保育室・ままごと 型はめ パズル 絵本 積み木 線路など好きな遊びをしましょう
- ・製作活動・・・かいたり貼ったりしましょう（1月の製作）
- ・絵本やパネルシアターなどを見ましょう
- ・音楽に合わせて歌ったり、身体を動かしたりしましょう
- ・リズム室や乳児クラスで遊びましょう



【1月の予定】



《0. 1, 2歳児》*人数が増えるまで、クラス関係なく合同で過ごします。

実施日	内容
1月13日（火）	お正月のおもちゃを作って遊びましょう 身体測定
1月20日（火）	1月の製作遊びをしましょう
1月28日（水）	移動図書・絵本の読み聞かせ

【12月を振り返って】



小麦粉粘土。最初は小麦粉のサラサラを楽しみました。

水を少しずつ入れるとドロドロに・・・



手にくっつかなくなったら粘土の出来上がり。





12月の製作でシールを貼ったり綿棒で雪を描いたりしました。



星形のリースを作りました。



悩み

すぐ「抱っこ 抱っこ」と甘ったれで困ります。

行動の意味

抱っこは「心の浮き輪」子どもにとってもっとも『安心』できることです。とにかく子どもはすぐ「抱っこ」といいますが、いろいろな場面によって、抱っこの意味合いも異なります。知らない人と出会って不安な時や、困った時、転んで痛い時などは、必要不可欠な存在であるお母さんにまずは抱っこをせがみ安心したいのです。人間以外の動物は、危機的状況におかれると必死で逃げますが、人間の子どものだけは、泣いたり抱っこを求めたりします。抱っこは心の浮き輪であり、避難場所なのです。

また、歩いてすぐに「抱っこ」という場合もあります。子どもは目的をもって歩いているわけではないので、少し歩くと飽きてしまうこともあります。決して足腰が悪いわけでも、疲れているわけでもありません。

対応法

甘えは大事。たくさん抱っこしてあげましょう。

抱っこを求められたら、甘えっこで困る、ではなく「不安だったの？」と言葉にして安心させて、できる限り抱っこしてあげましょう。子どもは抱っこされて安心し、自立していきます。抱っこは信頼関係を表し、精神生活に欠かせない役割を持ちます。抱っこができない場合でも、抱っこできない理由を説明してあげましょう。子どもは一人の人間として尊重されているとわかれば我慢できるものなのです。一緒に歩いている時の抱っこは「あそこの電柱までね」などと目標を決めて折り合いをつけたり、子どもにも目標を持たせるといいでしょう。

決して「歩かないと置いていくよ！」などという言葉はかけてはいけません。子どもにとって置き去りにされるのが一番の恐怖です。